

滋賀県産業振興審議会
(この間の議論に参加して)

2014. 5. 19
川口清史

滋賀県産業構造の特徴をどうおさえるか

- ① グローバル企業群——東レ、パナソニック、ダイハツ
村田製作所等京都電子部品産業
- ② グローバル企業関連中小企業
- ③ 地場産業(全国市場)——伝統産業(縮緬等)、第1次産業(琵琶湖漁業、農業)、
食品加工、観光業
- ④ 地元需要関連産業——サービス、流通、建設等

① ②の強さが滋賀県の特徴、逆に、③が相対的に弱い? ④が近年急速に成長
それぞれに対応した政策が必要

10年後の展望を政府はどう考えているか

総合科学技術会議

「科学技術イノベーション総合戦略～新次元日本創造への挑戦～」

平成25年6月閣議決定

滋賀県産業政策の方向性

- ① はグローバル経済の競争環境下で不透明な展望、単純組み立て工場は海外へ
(静岡県)
 - マザー工場化、R&D拠点として選ばれるための地域的条件
大学等研究機関、技術力ある②、高度技術者にとって住みよい街
- ② は①の急速な変化に対応できる技術力、一步先行く技術開発
 - 先を見通す力(R&D)、汎用的技術力(IC含む)、熟練労働力、
→ ネットワーク、コンソーシアム化、産学連携
- ③ 統一ブランドと業種を超えたネットワーク化、6次産業化、街づくりとの連携
- ④ 街づくりとの連携、この発展が①の持続的発展を支える